



平成27年4月20日
中部地方整備局港湾空港部
名古屋港湾事務所

お知らせ

伊勢湾口沖GPS波浪計の観測再開について

●概要等

・国土交通省中部地方整備局が愛知県伊良湖岬の南約25kmの海上に設置した「伊勢湾口沖GPS波浪計」が、搭載機器の故障により平成27年4月3日より観測停止となっていました。4/18(土)、機器の点検、調整により観測データの収集を再開、4/20(月)よりHPでの公表を再開しましたのでお知らせします。

HPでの公表先。

※ナウファスHP(全国港湾波浪情報網)(<http://www.mlit.go.jp/kowan/nowphas/>)

国土交通省港湾局が運営する我が国沿岸の波浪、潮位等の観測網のホームページ

・また気象庁への観測データの提供も再開しました。

●故障の原因

・GPS波浪計の内部に搭載されている観測データの収集装置を不具合箇所と特定。
・各関連機器の再起動などにより復旧。

●これまでの経緯

・4/3(金)伊勢湾口沖GPS波浪計の観測停止
・悪天候による高波浪によりGPS波浪計の点検の実施が出来ない状態(ブイに乗り移りが出来ない)が続いていた。
・4/18(土)、天候が回復、高波浪の状態が収まったため、点検、調整により観測データの収集を再開。
・4/20(月)、観測データの公表再開。

●現在の取り組み

・今後、1週間程度の動作確認を経て本格運用に移行する予定です。

●配布先 中部地方整備局記者クラブ、名古屋港記者クラブ、港湾新聞、
港湾空港タイムズ、日本海事新聞、海事プレス

●問合せ先

国土交通省 中部地方整備局 港湾空港部 海洋環境・技術課

課長：野口、課長補佐：大塚

Tel 052-209-6329

国土交通省 中部地方整備局 名古屋港湾事務所

副所長(技術)：杉、港湾保安調査官：島田 Tel 052-651-6266

〔GPS波浪計〕

- GPS波浪計は、港湾整備に必要な沖合波浪を観測する目的で設置したもので、観測データについては、ナウファスHP※で公表しています。
- また、地震発生時には、津波観測も可能であることから、気象庁に観測データを提供しており、気象庁の津波情報にも活用されています。

※ナウファスHP(全国港湾波浪情報網)(<http://www.mlit.go.jp/kowan/nowphas/>)

国土交通省港湾局が運営する我が国沿岸の波浪、潮位等の観測網のホームページ

